

『老化は病気だから治療できる』と 世界が言い始めた

老化を遅らせるどころか、元に戻す「若返り薬」はすでに販売されている

ハーバード大学医学大学院の、デビット・シンクレア教授は、著書「老いなき世界」で「老化は治療可能な疾患である」と記し、世界を驚かせ、注目を集めました。

老化は、病気と同じ細胞の機能低下の一種であり、治療によりコントロール可能な「疾患」であるという考え方が、主流になりつつあります。

京都大学の山中伸弥教授が発見した4つの遺伝子－通称「山中因子」によって細胞の初期化を誘導し老化を制御できることがわかり、老化細胞に直接作用を及ぼして体の機能を高める「細胞の若返り」の技術に期待が高まっています。

人間の体は、40兆個とも言われる膨大な数の細胞によって形作られています。細胞を動かすエンジンの役割を果たすのが細胞内にある「ミトコンドリア」です。私たちが生きているのは「ミトコンドリア」が元気にエネルギーを生み出しているからです。

免疫は病原体から体を守る大切な機能ですが、加齢とともに衰え「免疫老化」が進んでしまいます。（ヒトの体の細胞は4年でほとんど新しいものと入れ替わります）

毎日の「水素ガス吸引生活」で「活性化した細胞」に入れ替わります！
「免疫力」が上がる仕組みです！「水素ガス吸引システム」だけのスゴ技です！

NHKスペシャル「人体Ⅲ」

- 第1集 命の源 細胞内ワンダーランド
- 第2集 細胞40兆 限りあるから命は輝く
- 第3集 命のつながり 細胞40億年の旅
- 第4集 果てしなき命の探求

私たちの健康を支える医学の進歩、
そして命の意味とは？

40兆個の細胞たちは、それぞれ大切な役割を担っています。
役割によって約270種類の細胞に分かれています。